

主要演題プログラム

会長講演 第1会場 10月14日(金) 9:30~10:20

座長：増山 純二 (令和健康科学大学)

PL1. 救急看護における成果の探究

剣持 功 (東海大学看護師キャリア支援センター)

基調講演 第1会場 10月14日(金) 10:30~11:30

座長：剣持 功 (東海大学看護師キャリア支援センター)

KL1. 救急医療の“これまで”と“これから”

猪口 貞樹 (東海大学医学部医学科)

特別講演1 第7会場 10月14日(金) 10:30~11:30

座長：明石 恵子 (名古屋市立大学)

SL1. 救急看護 実践・教育・制度のファーストペンギン in 昭和・平成・令和

松月 みどり (湘南医療大学 保健医療学部看護学科 教授)

特別講演2 第3会場 10月14日(金) 16:25~17:25

座長：山勢 博彰 (山口大学大学院医学系研究科)

SL2. 一般社団法人 日本救急看護学会・学術集会在が意味するものから 救急看護(学)のこれからの志向する

中村 恵子 (日本救急看護学会名誉会員)

教育講演1 第2会場 10月14日(金) 14:05~15:05

座長：菅原 美樹 (札幌市立大学)

EL1. 救急外来における看護実践の評価: 医療の質評価と改善活動

櫻本 秀明 (日本赤十字九州国際看護大学)

教育講演2 第3会場 10月14日(金) 14:05~15:05

座長：中村 美鈴 (東京慈恵会医科大学)

EL2. 未来を変えるか!? 遠隔医療に生きる看護の展望

長谷川 高志 (特定非営利活動法人日本遠隔医療協会)

教育講演3**第3会場 10月14日(金) 15:20~16:20**

座長：軍神 正隆 (虎の門病院)

EL3. 米国における蘇生教育の実情と看護師の役割

Peter L. Fromm (MPH, RN, FACHE, FAHA)

教育講演4**第6会場 10月15日(土) 9:00~10:00**

座長：山勢 善江 (湘南医療大学)

EL4. JTAS2022改訂のポイントと今後の運営体制

奥寺 敬 (国立大学法人富山大学先端危機管理医学(寄附講座))

教育講演5**第6会場 10月15日(土) 10:05~11:05**

座長：佐々木 吉子 (東京医科歯科大学)

EL5. Society5.0の世界からの救急看護

浅香 えみ子 (東京医科歯科大学病院)

教育講演6**第2会場 10月15日(土) 10:40~11:40**

座長：小池 伸享 (前橋赤十字病院)

EL6. 歴史から考える救急看護の未来 -救急看護師の舞台は病院から現場へ-

守田 誠司 (東海大学医学部救命救急医学)

教育講演7**第3会場 10月15日(土) 11:10~12:10**

座長：佐藤 憲明 (日本医科大学付属病院)

EL7. AIを活用した救急診療の現状と展望

中田 孝明 (千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学)

教育講演8**第6会場 10月15日(土) 11:10~12:10**

座長：園川 雄二 (東海大学医学部付属病院)

EL8. 明日からできる!! 救急看護としての家族支援

櫻井 大輔 (東海大学医学部看護学科)

教育講演9

第1会場 10月15日(土) 13:25~14:25

座長：小田 知子 (東海大学看護師キャリア支援センター)

EL9. 敗血症性ショックによる生体反応のメカニズムを学ぼう

道又 元裕 (Critical Care Research Institute)

教育講演10

第7会場 10月15日(土) 13:25~14:55

**『災害対応のプロから学べ！チーム力で危機を乗り越える極意とは！？
困難をチームで乗り切る知恵を知る』**

座長：大山 太 (東海大学)

EL10-1. 『活動時の危機管理』 チームの共通理解の重要性

草場 秀幸 (在日米海軍統合消防局佐世保署)

EL10-2. 災害対応のプロから学べ！チーム力で危機を乗り越える極意とは！？

勝部 司 (国際協力機構 国際緊急援助隊事務局)

教育講演11

第1会場 10月15日(土) 14:35~15:35

座長：峯山 幸子 (東海大学医学部附属病院)

EL11. 「人工呼吸器からの離脱」を理解する-基礎知識から臨床での考え方まで

卯野木 健 (公立大学法人 札幌市立大学 看護学部)

『救急に携わる看護師の育成』

座長：阿部 雅美 (日本赤十字社和歌山医療センター)

杉本 環 (日本看護協会 看護研修学校)

S1-1. A大学病院救命救急センターにおける臨床看護教育の実際と課題

～カリキュラムの設定による学習支援～

所賀 聡子 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

S1-2. 臨床現場で行っている2つの救急看護教育

～実践能力の可視化と実践知獲得のためのナラティブアプローチ～

岩崎 翼 (半田市立半田病院救命救急センター)

S1-3. 救急看護師の育成～認定看護師教育の立場から～

桑村 直樹 (医療法人深仁会 手稲深仁会病院)

S1-4. エビデンスに基づいた患者中心の看護を導くスペシャリストの育成

田戸 朝美 (山口大学)

『救急看護におけるこれまでのCOVID19対応とこれからCOVID19対応』

座長：箱崎 恵理 (看護協会ちば訪問看護ステーション)

淵本 雅昭 (東邦大学医療センター大森病院)

S2-1. ICUにおけるCOVID19患者家族への看護の実際と課題

牧野 夏子 (札幌医科大学附属病院看護部)

S2-2. COVID19による当院の救急対応の変化

～発熱外来発足から3年目を迎えた現状と課題～

小野澤 主子 (東邦大学医療センター大森病院)

S2-3. 救急看護におけるCOVID-19への対応 ～これまでとこれから～

小林 倫子 (東海大学医学部附属病院 医療監査部 院内感染対策室)

S2-4. COVID-19対応における救急医療現場のマネジメントと今後の課題

－看護管理者の立場から－

川谷 陽子 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター EICU)

S2-5. 新型コロナウイルス感染症、その動向と今後の対策

小林 寅喆 (東邦大学看護学部 感染制御学)

『特定行為研修制度発足から6年、救急看護現場はどのように変わったか』

座長：三上 剛人 (吉田学園医療歯科専門学校)

天谷 愛 (東京都立広尾病院)

S3-1. 救急外来をフィールドにした特定行為研修修了看護師の役割

増山 純二 (令和健康科学大学)

S3-2. 特定行為による救急看護の成果

峯山 幸子 (東海大学医学部付属病院8B病棟)

S3-3. 救急看護現場における特定行為研修修了者活用の実際と課題

多田 真也 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

S3-4. 特定行為研修制度の概況と修了者に期待される役割

羽田 忍 (厚生労働省 医政局 看護課 看護サービス推進室)

『日本集中治療医学会との合同企画 (50周年記念)
これからの救急・集中治療における看護を考える』

座長：卯野木 健 (札幌市立大学)

瀧本 雅昭 (東邦大学医療センター大森病院)

S4-1. 集中治療の経験から救急外来に活かされたこと

大村 正行 (日本赤十字社 岡山赤十字病院 救命救急センターICU)

S4-2. 救急看護における教育の現状とこれからのデザインを考える

苑田 裕樹 (令和健康科学大学)

S4-3. 看護管理者として期待するこれからの救急看護

上澤 弘美 (総合病院 土浦協同病院 看護部)

S4-4. これからの救急・集中治療看護提供体制について医療制度の観点から考える

河合 佑亮 (藤田医科大学病院 看護部)

S4-5. 集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性:システムティックレビューおよびデルファイ調査

櫻本 秀明 (日本赤十字九州国際看護大学)

S4-6. 日本集中治療医学会における認証看護制度 (ICRN, ICRN-K)に関して

卯野木 健 (公立大学法人 札幌市立大学 看護学部)

『救急医療において救急領域の看護師がタスクシフト・シェアにどのような貢献ができるのか』

座長：木澤 晃代（公益社団法人日本看護協会）

守田 誠司（東海大学医学部救命救急医学）

S5-1. 救急特定行為看護師への期待

今 明秀（八戸市立市民病院 院長）

S5-2. 救急看護領域で活躍する看護師の、新たな可能性（Possibility）と発展性（Potential）

富阪 幸子（川崎医科大学総合医療センター）

S5-3. 看護師主体とした患者スクリーニングによるタスクシフト・シェアの現状

高以良 仁（災害医療センター）

S5-4. 救急医療において救急領域の看護師がタスクシフト・シェアにどのような貢献ができるのか—看護管理者の立場から—

浅香 えみ子（東京医科歯科大学病院）

『Rapid Response Systemの成果と今後の課題』

座長：桑村 直樹（医療法人湊仁会 手稲湊仁会病院）

中嶋 康広（東海大学看護師キャリア支援センター）

S6-1. RRS運用に向けた当院の取り組み

泉谷 勇（市立釧路総合病院）

S6-2. Rapid Response System導入から5年～現状とこれからの5年に向けて～

藤田 玲（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

S6-3. RRSにおけるRRTメンバーの教育と病棟看護師教育

森 一直（愛知医科大学病院 NP部）

S6-4. 昭和大学病院におけるtele-ICUの取り組み

住永 有梨（昭和大学病院 看護部）

S6-5. Critical Care Outreach Teamによる院内ラウンドの実際と看護師の育成

井川 洋子（総合病院 土浦協同病院）

『クリティカルケア領域の認定看護師の活動とこれから求められる課題』

座長：瀬川 久江 (呉医療センター 医療技術センター)

山崎 早苗 (東海大学医学部付属病院)

PD1-1. 救急看護認定看護師の活動の方向性と活動支援について

～求められる救急看護認定看護師であるために～

杉本 環 (日本看護協会 看護研修学校)

PD1-2. 救急看護認定看護師が果たした成果から今後私たちがすべきことを考える

笠原 真弓 (浜松医療センター)

PD1-3. クリティカルケア認定看護師取得前後での働き方の変化について

-認定看護師一年目の活動の振り返りと今後の課題-

小村 悠太 (島根大学医学部付属病院 E-ICU)

PD1-4. 実践モデルとしての関わりが病棟看護師の行動変容へつながった一例

吉岡 真弓 (千葉市立青葉病院 看護部)

PD1-5. 『看護の成果とは何か?』 ～当院におけるクリティカルケア領域の認定看護師の活動とこれから求められる課題の考察～

佐藤 央 (東京医科歯科大学大学院)

『救急看護における倫理的看護実践の評価』

座長：中村 美鈴 (東京慈恵会医科大学)

小島 善和 (東京情報大学 看護学部)

PD2-1. コロナ禍で発生した救急看護実践における倫理的課題

藤野 智子 (聖マリアンナ医科大学病院)

PD2-2. 救急外来診療のチーム医療における看護師の役割

細田 満和子 (星槎大学大学院教育学研究科)

PD2-3. COVID19感染症の最前線である救急看護における倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) について

三浦 靖彦 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部)

『病院前救急看護師の役割』

座長：坂田 久美子（愛知医科大学病院）

石田 桃子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

PD3-1. 早期患者接触に向けたセカンドナースの取り組み

中洲 淳士（川崎医科大学附属病院 高度救命救急センター）

PD3-2. 病院前救急看護師に必要なリーダーシップ

阿部 嘉晃（鹿児島市立病院救命救急センター）

PD3-3. 求められている看護師の役割と今後の課題

水野 憲宏（日本医科大学千葉北総病院）

PD3-4. フライトナースのプレホスピタル活動におけるマネジメント

竹内 理恵（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

PD3-5. 病院前救急現場におけるチーム構築と多職種連携

ドクターヘリシミュレーションを通しての考察

加古 訓之（君津中央病院 救急・集中治療科）

『多種専門領域と救急看護のコラボレーション』

座長：箱崎 恵理（看護協会ちば訪問看護ステーション）

山本 恵子（アトラ訪問看護ステーション）

PD4-1. ソーシャルワーカーと救急看護のコラボレーション

～救急看護認定看護師との協働で得た気づき～

田中 美維（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

PD4-2. 救急看護師と多種職による在宅支援の携わり

－臨床工学技士の立場から－

永井 幸枝（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 クリニカルエンジニア部）

PD4-3. ケアマネジャー・薬剤師の視点から考える救急看護との連携の在り方

雑賀 匡史（さいがケアファルマ合同会社）

PD4-4. 高度救命救急センターにおける看護師と理学療法士のコラボレーション

市川 毅（東海大学医学部付属病院リハビリテーション技術科）

PD4-5. ICTを活用した地域医療介護連携ネットワークにおける救急医療の利活用について

横田 元（株式会社ヘルスケアリレイションズ）

『心肺蘇生中の安全管理について考える』

座長：大久保 健一（東海大学医学部付属病院 看護部）

PD5-1. 開心術後の既往のある患者への自動心臓マッサージ装置使用に関する課題について

渡邊 直貴（東海大学医学部付属病院高度救命救急センター）

PD5-2. わが国の心肺蘇生法における気道管理と安全管理に関する課題について

大川 真代（小田原市立病院）

**PD5-3. 心肺蘇生に係る医療機器の安全管理について
～臨床工学技士としての立場から～**

深町 和彦（東海大学医学部付属病院 診療技術部 臨床工学技術科）

PD5-4. 救急現場における救急救命処置の安全管理について考える

伊藤 広治（平塚市消防本部）

『私の救急看護 ささまざまな語りから探る救急看護の在り方（こだわり）』

座長：石井 恵利佳（獨協医科大学埼玉医療センター）

苑田 裕樹（令和健康科学大学）

WS1-1. 3次救急外来における救急看護についての省察

望月 桂（杏林大学医学部付属病院 高度救命救急センター）

WS1-2. 私の救急看護とは～RRSが与えてくれたもの

宇野 翔吾（株式会社日立製作所 日立総合病院 救命救急センター）

WS1-3. 救命病棟における私の救急看護

本田 智治（長崎大学病院 高度救命救急センター）

WS1-4. プレホスピタルで活動する看護師の役割と使命

真子 敬史（久留米大学病院高度救命救急センター）

『いまさら聞けない！「利益相反（COI）に関する基本的なこと』』

座長：石川 幸司（北海道科学大学）

-
- WS2-1.** 中村 美鈴（東京慈恵会医科大学医学部看護学科）
- WS2-2.** 石川 幸司（北海道科学大学医療保健学部看護科）
- WS2-3.** 船木 淳（愛知医科大学医学部シミュレーションセンター）
- WS2-4.** 吉田 紀子（獨協医科大学附属病院）

利益相反委員会

『やってみたい！救急看護』

座長：野澤 陽子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

丹羽 由美子（愛知医科大学病院 高度救命救急センターHCU）

-
- WS3-1.** 救急看護に魅せられて、そして種を蒔くということ
宮崎 博之（公立大学法人福島県立医科大学附属病院
災害医療・高度救命救急センターHCU/救急外来）
- WS3-2.** 救急外来に潜んだ重症患者を見逃さないために
-重症化予防に必要な初期対応と帰宅時の調整-
吉田 美恵子（順天堂大学医学部附属練馬病院 救急プライマリーケアセンター）
- WS3-3.** 救急看護の実際 ～継続看護の第一走者としての役割～
黒木 志帆里（福岡大学病院 看護部）
- WS3-4.** 地域の救急医療体制維持向上に貢献できる救急看護師を目指して
向井 直基（市立大洲病院）

『VRを導入した新たな外傷看護教育へのチャレンジ-「見る」から「体験する」へのシフトチェンジが与える学習効果を考える-』

座長：佐藤 憲明 (日本医科大学付属病院)

小池 伸享 (前橋赤十字病院)

WS4-1. WEB版セミナーの「成果」と「課題」と「これから」

山中 雄一 (京都大学医学部附属病院)

WS4-2. VRを活用した臨床教育の現在と未来

細木 豪 (株式会社ジョリーブッド)

WS4-3. ～ VRを活用した臨床看護教育の可能性～

富岡 小百合 (大阪府立中河内救命救急センター)

WS4-4. 救急救命士教育へのVirtual Reality活用の現状

鈴木 健介 (日本体育大学大学院 保健医療学研究科 救急災害医療学専攻)

WS4-5. VRを導入した新たな外傷看護教育へのチャレンジ**-「見る」から「体験する」へのシフトチェンジが与える学習効果を考える-**

苑田 裕樹 (令和健康科学大学)

外傷看護委員会

『どうしよう…。 こんな時のファーストエイド！』

座長：上川 智彦 (株式会社T-ICU)

清水 克彦 (株式会社T-ICU)

M1. ファーストエイド委員会

ファーストエイド委員会

『研究助成金を獲得するためのコツと活用』

座長：木野 毅彦 (日本医科大学付属病院 外科系集中治療室)

M2. 佐々木 吉子 (日本救急看護学会調査研究委員会)

調査研究委員会

『救急看護師の能力開発について考える-救急看護クリニカルラダーから』

座長：平尾 明美 (千里金蘭大学)

川原 千香子 (昭和大学医学部医学教育学講座)

-
- M3-1.** 坂田 久美子 (愛知医科大学病院)
- M3-2.** 源本 尚美 (札幌市立大学病院)
- M3-3.** 有澤 文孝 (東千葉メディカルセンター)
- M3-4.** 二藤 真理子 (りんくう総合医療センター)
- M3-5.** 久間 朝子 (福岡大学病院)
- M3-6.** 浅香 えみ子 (東京医科歯科大学病院)

教育委員会

『ここが変わった！ 倫理指針 改正2021「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」』

座長：船木 淳 (愛知医科大学)

-
- M4-1.** 藤野 智子 (聖マリアンナ医科大学附属病院)
- M4-2.** 谷島 雅子 (自治医科大学附属病院)
- M4-3.** 船木 淳 (愛知医科大学医学部シミュレーションセンター)
- M4-4.** 樫山 定美 (医療創生大学)
- M4-5.** 挟間 しのぶ (東京慈恵会医科大学附属病院)
- M4-6.** 中村 美鈴 (東京慈恵会医科大学)

倫理委員会

『認定看護師の活動成果と今後の展望』

座長：笠原 真弓 (浜松医療センター 看護部)

後小路 隆 (社会医療法人 陽明会 小波瀬病院)

M5-1. 一番欲しかったもの

～救急看護認定看護師になって気づいたこと そして 目指すものへ～

中田 徹朗 (宝塚市立病院 救急医療センター)

M5-2. 救急看護の魅力と可能性

小原 環 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院)

M5-3. 救急看護認定看護師としてこだわりたい看護管理者としての看護実践

野澤 陽子 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

M5-4. 診療看護師資格取得後の活動の変化と役割について

田村 浩美 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター)

『救急初療における終末期ケア

ー高齢少子時代に私たちができることは何かー』

座長：大野 美香 (名古屋医療センター)

山勢 善江 (湘南医療大学)

M6-1. 終末期ケア委員会の取り組み報告

福島 綾子 (日本赤十字九州国際看護大学)

M6-2. 改めて自分に問う 高齢家族への終末期ケア

岡林 志穂 (高知医療センター)

M6-3. 元・救急看護師が在宅を語る

在宅⇄救急

～危機的な状況、訪問看護師と家族が揺れ動いた判断・決断～

末永 一祝 ((株)NEXAS メディケア訪問看護リハビリステーション福岡南)

M6-4. 人生最終段階にある高齢者・認知症のある方々の、意思を汲み取るために看護師ができること

大永 里美 (北里大学病院)

終末期ケア委員会

『患者が思う救急看護の質』

座長：源本 尚美 (市立札幌病院)

田口 裕紀子 (札幌医科大学)

M7-1. 救急外来における看護師に対する患者満足度尺度の開発

春名 純平 (札幌医科大学附属病院看護部)

M7-2. 事例から、患者の意思を尊重した医療およびケアと医療への満足度について考える

二藤 真理子 (りんくう総合医療センター)

M7-3. 救急外来における患者満足度に影響する因子
～看護師の介入は満足度向上を向上させるのか～有澤 文孝 (地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター
東千葉メディカルセンター)**M7-4.** 患者が思う看護師の特定行為の質

—特定行為(術中麻酔管理領域パッケージ)を受けた患者から聞く—

山田 亨 (東邦大学医療センター大森病院 看護管理室)

M7-5. 救急外来に電話する患者が求める看護～症例からの考察～

井上 聖子 (東京医科大学八王子医療センター救命センター)

『コロナ禍におけるオンライン学習の創意工夫』

座長：市村 健二 (株式会社T-ICU)

吉次 育子 (神戸大学医学部附属病院)

M8-1. eラーニングにおける救急初療看護の症例基盤型学習

増山 純二 (令和健康科学大学)

M8-2. オンラインを活用したクリニカルラダー研修

石井 恵利佳 (獨協医科大学埼玉医療センター)

M8-3. 学部教育におけるコロナ禍でのオンライン学習の創意工夫

田戸 朝美 (山口大学)

M8-4. 開発途上国を対象とした遠隔ICU支援におけるオンライン教育の経験

森口 真吾 (株式会社T-ICU)

交流集会9

第8会場 10月15日(土) 10:40~12:10

『ドクターカーに看護師が搭乗する意義・成果』

座長：佐々 智宏 (広島大学病院)

三上 剛人 (吉田学園医療歯科専門学校)

M9-1. 福士 博之 (JA北海道厚生連帯広厚生病院)

M9-2. 大瀧 友紀 (聖隷三方原病院)

M9-3. 山崎 早苗 (東海大学医学部附属病院)

M9-4. 小山 剛広 (伊勢原市消防本部)

プレホスピタルケア委員会

交流集会10

第9会場 10月15日(土) 10:40~12:10

『日本救急看護学会の将来構想 — 各ワーキンググループによる報告 —』

座長：山勢 博彰 (山口大学大学院医学系研究科)

M10. 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会

交流集会11

第3会場 10月15日(土) 13:25~14:55

『救急領域における創傷の管理とケア』

座長：志村 知子 (日本医科大学付属病院)

平間 陽子 (千葉大学医学部附属病院 救命救急センター)

M11-1. 救命救急センターにおける人工呼吸器関連の医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) 減少への取り組み

難波 結子 (東海大学医学部附属病院 8B病棟)

M11-2. 救急領域の創傷管理の中でWOCナースができること

帯刀 朋代 (東京医科大学病院 看護部)

M11-3. 救命救急の現場における創傷との関わり方

藪野 雄大 (日本医科大学多摩永山病院 形成外科)

『救急電話相談トリアージナーズへの期待』

座長：平柳 和奈 (公立昭和病院)

伊藤 雪絵 (奈良県立医科大学附属病院)

M12-1. 電話相談プロトコルを実際に運用する看護師への期待

織田 順 (大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター)

M12-2. 救急電話相談看護師に求められる能力

赤尾 いづみ (救急安心センターおおさか)

**M12-3. 救急電話相談トリアージ、トリアージナーズに期待すること
救急医からの視点**

辻 友篤 (東海大学医学部救命救急医学)

M12-4. 救命救急センターで看護師が実践する電話相談トリアージの現状と課題

佐藤 奈津 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター)

M12-5. 救急電話相談に関する実態調査の概要

船木 淳 (愛知医科大学医学部シミュレーションセンター)

救急電話相談トリアージ委員会

『どこでも活かせる緊急度判定』

座長：芝田 里花 (日本赤十字社和歌山医療センター)

吉田 栄里 (豊田厚生病院)

M13-1. 関谷 裕美 (日本大学医学部附属板橋病院救急看護認定看護師)**M13-2. 平尾 明美 (千里金蘭大学クリティカル看護学)****M13-3. 池田 里美 (自治医科大学大学院 診療看護技術管理学領域)****M13-4. 瀧澤 紘輝 (神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
救急看護認定看護師)**

トリアージ委員会

交流集会14

第7会場 10月15日(土) 15:05~16:25

『どうしていますか？災害教育』

座長：泥谷 朋子 (東京医療保健大学)

安積 純子 (公立豊岡病院)

M14-1. 菱沼 秀一 (獨協医科大学)

M14-2. 森山 詠美子 (島根大学医学部附属病院)

M14-3. 山本 恵子 (アトラケア株式会社 アトラ訪問看護ステーション)

M14-4. 恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院)

災害看護委員会

交流集会15

第8会場 10月15日(土) 15:05~16:25

『研究倫理について考えよう -論文投稿時に自らを守るために-』

座長：本田 可奈子 (滋賀県立大学 人間看護学部)

M15. 江川 幸二 (神戸市看護大学)

編集委員会

交流集会16

第9会場 10月15日(土) 15:05~16:25

『オーストラリアにおける高度実践看護とCOVID-19対応
~日本人救急部門Clinical Nurseとの交流~』

座長：中村 美鈴 (東京慈恵会医科大学)

古賀 雄二 (川崎医療福祉大学)

M16. 鈴木 えり (オーストラリア (Gold Coast University Hospital))

国際交流委員会

『救急から取り組む療養支援とは』

座長：小笠原 恵子（海辺の杜ホスピタル）

土倉 万代（土倉内科循環器クリニック）

D1-1. 小澤 美津子（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）

D1-2. 山本 恵子（アトラ訪問看護ステーション）

D1-3. 直井 みつえ（栃木県済生会宇都宮病院）

D1-4. 箱崎 恵理（看護協会ちば訪問看護ステーション）

在宅救急看護委員会

共催セミナー

ランチオンセミナー 1

第1会場 10月14日(金) 11:50~12:50

座長：露木 菜緒 (ヴェクソンインターナショナル株式会社 集中ケア認定看護師)

LS1. クリティカルケア看護のDX“睡眠の可視化”が課題を解決していく

藤野 智子 (聖マリアンナ医科大学病院 急性・重症患者看護専門看護師)

パラマウントベッド株式会社

ランチオンセミナー 2

第2会場 10月14日(金) 11:50~12:50

『テクノロジーによる看護教育の変革！VRが叶える経験知の加速』

座長：谷河 篤 (東北大学病院 高度救命救急センター)

松月 みどり (学校法人湘南ふれあい学園 湘南医療大学)

LS2-1. AMED実証研究事業のご紹介

細木 豪 (株式会社ジョリーグッド)

LS2-2. 外傷初期看護セミナーへのVR導入の取り組み

苑田 裕樹 (令和健康科学大学)

LS2-3. 重症外傷初療における看護教育

今本 俊郎 (埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター)

株式会社ジョリーグッド

ランチオンセミナー 3

第3会場 10月14日(金) 11:50~12:50

座長：有馬 理加 (昭和大学横浜市北部病院 看護部 師長)

LS3. 心電図モニタリングの進化、心電送信機Cocoron®への期待

野秋 裕真 (聖マリアンナ医科大学病院 クリニカルエンジニア部)

ニプロ株式会社

ランチオンセミナー 4**第4会場 10月14日(金) 11:50~12:50**

座長：守田 誠司 (東海大学医学部 総合診療系救命救急医学 教授)

LS4. ERオペレーションの効率化～看護師、医師、2つの異なる視点から～小林 憲太郎 (国立国際医療研究センター病院 第二救急科医長/
副医療安全管理室長/シミュレーションセンター長)

城田 智之 (前橋赤十字病院 看護部 救急看護認定看護師)

日本ストライカー株式会社**ランチオンセミナー 5****第1会場 10月15日(土) 12:15~13:15**

座長：浅香 えみ子 (国立大学法人 東京医科歯科大学病院 病院長補佐/ 看護部長)

LS5. 看護師の未来とキャリアデザインを考えてみましょう道又 元裕 (ヴェクソンインターナショナル株式会社執行役員/
一般社団法人Critical Care Reserch Institute 代表理事)**ヴェクソンインターナショナル株式会社****ランチオンセミナー 6****第2会場 10月15日(土) 12:15~13:15**座長：中嶋 康広 (東海大学 看護師キャリア支援センター 認定看護師教育課程
救急看護学科 専任教員)**LS6. シン体温管理療法 (TTM)**

新山 和也 (埼玉医科大学国際医療センター 急性・重症患者看護専門看護師)

株式会社メディコン**ランチオンセミナー 7****第3会場 10月15日(土) 12:15~13:15**

座長：吉野 俊平 (株式会社麻生 飯塚病院 集中治療科 部長)

LS7. 予期できた急変をなくす！RRSの取り組み立野 淳子 (一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 看護部
クオリティマネージメント科 科長 急性・重症患者看護専門看護師)**フクダコーリン株式会社**

ランチオンセミナー 8

第4会場 10月15日(土) 12:15~13:15

座長：田村 富美子 (学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院 ICU /
NPO法人日本ACLS協会 理事)

LS8. 「ハートコードBLSコース」

オンライン学習を中心とした新しいBLSコースはじめました

木下 隆 (京都市下鴨病院 麻酔科 / NPO法人日本ACLS協会 理事)

NPO法人日本ACLS協会

ランチオンセミナー 9

第5会場 10月15日(土) 12:15~13:15

座長：山崎 早苗 (東海大学医学部附属病院)

LS9. ～迅速な救急看護を可能にする～

“非接触”15秒で立ち上がる「バイタルセンシングシステム」のご紹介

野呂 直樹 (エバ・ジャパン株式会社 代表取締役)

エバ・ジャパン株式会社

一般演題プログラム

一般演題（口演1）

第4会場 10月14日（金）10:30～11:30

座長：松田 浩樹（東京ベイ・浦安市川医療センター）

- O1-1.** 若手看護師の院内救急コールに対する躊躇感の関連要因
鈴木 好（小田原市立病院救命救急センター）
- O1-2.** クリティカル領域において看護師が行う急変予防行動に影響する要因
森 まどか（大阪コロナ重症センター）
- O1-3.** 呼吸の異常から急変を判断するケースリフレクション教育の試み
～看護師の呼吸アセスメント力への効果～
本村 理恵（宮崎県立延岡病院）
- O1-4.** 院内二次救命処置コース受講後の病棟看護師が体験した患者の急変状態と
看護師の行動
赤石 奈々（公立八鹿病院 南但訪問看護センター）
- O1-5.** 院内急変対応の普及に向けた体制構築への取り組み
石田 智彦（医療法人 辰星会 枳記念病院）
- O1-6.** 救急外来と一般病棟でのショックに対する看護師の意識についての比較
～観察ポイントに着目して～
菊地 由美子（公立置賜総合病院 救命救急センター救急外来）

一般演題（口演2）

第5会場 10月14日（金）10:30～11:30

座長：伊藤 祐子（安曇野赤十字訪問看護ステーション）

- O2-1.** 救急初療室での看取り経験で救急看護師が感じるモラルディストレス：質
的記述的研究
小野寺 敦啓（昭和大学病院HCU）
- O2-2.** 救急外来に心停止で搬送された患者家族への看護の実態
本多 佳子（国家公務員共済組合連合会枚方公済病院）
- O2-3.** A大学病院救命救急センターに勤務する看護師の悲嘆する家族に対する関
わりと エンゼルケアの実施状況の調査
横塚 美紀（獨協医科大学病院 救命救急センター）
- O2-4.** CPA家族における患者ニーズを捉えた家族ケアの在り方
小路 弘輝（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院）
- O2-5.** 突然死での看取り看護に関する救急看護師のレジリエンス
～実践度・重要度及び個人内要因との関連～
須田 果穂（山口大学大学院医学系研究科）

座長：中田 哲也（獨協医科大学病院）

-
- O3-1.** ドクターヘリで搬送された患者の受傷から病院搬送までの体験
河井 尚美（手稲溪仁会病院）
- O3-2.** ドクターカー看護師同乗基準を作成し運用を開始したことによる効果の検証
酒井 由夏（社会医療法人近森会近森病院 救命救急センター）
- O3-3.** ドクターカー運用の現状と早期医療介入に向けた今後の課題
藤井 香織（SUBARU健康保険組合太田記念病院 救命救急センター）
- O3-4.** 救急ワークステーション開設から2年を経たの課題と展望
上杉 如子（国民健康保険 小松市民病院）
- O3-5.** コロナ禍におけるECPR対応の実際と成果
～感染対策を講じたDrカーと院内連携～
門田 風花（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 ER）

座長：平間 陽子（千葉大学医学部附属病院）

-
- O4-1.** 緊急入院及び緊急治療入室患者の救急外来滞在時間短縮に向けた取り組み
光藤 久乃（多根総合病院 救急外来）
- O4-2.** 急性期脳梗塞における血管内治療開始までの時間短縮に向けた取り組み
～救急外来搬入から動脈穿刺まで～
細井 麻美（旭川赤十字病院 救命救急センター HCU・救急外来）
- O4-3.** コロナ禍におけるER滞在時間短縮に向けた取り組み
大野 菜那（東海大学医学部付属病院）
- O4-4.** 救急看護師の役割に関する文献検討～タスク・シフト/シェアへの示唆～
須田 果穂（山口大学大学院医学系研究科）
- O4-5.** 脳梗塞患者の治療開始までの取り組みと今後の課題
～時間短縮を目的とした多職種協働～
桑原 雅恵（秦野赤十字病院）
- O4-6.** 救命病棟へ入室する循環器内科患者の救急外来滞在時間に影響を及ぼしている要因
近藤 茉優（トヨタ記念病院）

座長：北崎 礼繁（日本医科大学武蔵小杉病院）

-
- O5-1.** 救急外来における異動者に対する早期の教育システムの構築
～スタートダッシュ学習会を実施しての検討～
橋本 翼（公立置賜総合病院）
- O5-2.** 外傷患者初療時における記録用テンプレート活用の効果
永井 晴菜（自治医科大学附属病院 看護部 救命救急センター）
- O5-3.** ICU内で行う緊急開腹手術における統一した看護実践に向けた取り組み
アクションカードの使用による検証
福永 捺美（兵庫県災害医療センター）
- O5-4.** A病院の救急外来におけるタイムアウト導入の効果
－看護師の認識調査から－
佐々木 勇太（東京都立多摩総合医療センター）
- O5-5.** 重症COVID-19患者に対して行ったICUダイアリーの効果
路川 恵利加（茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 EICU）
- O5-6.** 自己抜去予防を目的とした、抑制カンファレンスの効果。
田畑 慶喜（昭和大学病院救命救急センター）

座長：橋本 翼（公立置賜総合病院）

-
- O6-1.** 救命救急センターにおける鎮痛鎮静プロトコルの有用性
菊池 鏡平（東京大学医学部附属病院 救命救急センター）
- O6-2.** 予定外抜管に関する有害事象の状況分析と再発防止策の検討
山田 君代（医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院）
- O6-3.** 救命センター看護記録からみた気管挿管患者の口腔内合併症に関する調査
安保 麻由子（神戸大学医学部附属病院救命センター）
- O6-4.** 救命センターに勤務する看護師に対して口腔ケアのスキル向上のための取り組み
篠原 由莉（神戸大学医学部附属病院）
- O6-5.** 頸椎損傷患者の人工呼吸器早期離脱に向けての取り組み
大堀 紅瑠実（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 救命救急センター）
- O6-6.** リハビリ意欲が低下している患者との関わりについて
吉田 陸（仙台医療センター救命救急センター）

座長：神保 大士（聖マリアンナ医科大学病院）

- O7-1. 職員の災害時安否確認のシミュレーションを通して
～ teamsを活用した結果と課題～**
蒲池 祥（かわぐち心臓呼吸器病院）
- O7-2. 多数傷病者受け入れフローシートに沿った机上訓練からの課題**
岸本 沙希（聖泉大学）
- O7-3. COVID-19感染対策を重視した急変対応シミュレーションが奏功した一例**
鍋木 優希（筑波記念病院）
- O7-4. 救命救急センターにおける発熱外来の立ち上げと安全かつ効率的な運用**
林田 明美（社会福祉法人 恩賜財団 済生会 熊本病院 西病棟）
- O7-5. 救急外来における救急電話相談の実施状況と教育的ニーズの把握：
全国質問紙調査**
今井 亮（文京学院大学）
- O7-6. ERスキルミクスによって進化を続けた発熱外来対応の実際
～多職種で乗り越えたコロナ第6派の軌跡～**
西川 香織（社会医療法人人生長会 ベルランド総合病院 ER）

座長：鈴木 めぐみ（順天堂大学医学部附属静岡病院）

- O8-1. 新人フライトナース育成におけるウェアラブルカメラを用いた映像評価の
効果**
柳原 佐友里（東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター）
- O8-2. 当院におけるドクターカーナース教育プログラム構築方法**
廣瀬 裕加（宝塚市立病院）
- O8-3. ドクターカーナース教育方法の検討ー机上シミュレーションの充実ー**
佐藤 希（旭川医科大学病院救命救急センター）
- O8-4. プレホスピタル活動における新人フライトナースの会話の特徴**
高橋 友也（埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター）
- O8-5. 映像評価から見た新人フライトナースの傾向と指導上の課題**
新里 恵（東海大学医学部付属病院高度救命救急センター）
- O8-6. 院内トリアージの質向上に向けた教育効果の検証**
床尾 羊翼（社会医療法人仙養会北摂総合病院）

座長：田畑 剛（松戸市立総合医療センター）

- O9-1.** 新型コロナウイルス感染症流行により外来看護師が受けたストレスの実態
桶成 裕佳子（公立松任石川中央病院）
- O9-2.** 『救急看護師における自発的内省の定着を目指した取り組み』
山本 隆博（飯塚病院救命救急センター）
- O9-3.** 新型コロナウイルス感染症患者を担当した救急看護師のストレスサー
荒井 浩子（自治医科大学附属病院 看護部 救命救急センター）
- O9-4.** 学びほぐしを通して気づいたCOVID-19患者に携わる看護師の心理状況
向井 楓（宝塚市立病院救命医療センター）
- O9-5.** 救命救急センター開設においてスタッフが抱えたストレス
－新部署開設時の苦悩－
田牧 晴香（JMA海老名総合病院救命救急センター）
- O9-6.** 救命救急センターに配置転換した看護師の経験の蓄積に関する研究 第1報
外科病棟経験看護師の語りの分析
福当 生世（敦賀市立看護大学）

座長：川崎 沙羅（杏林大学病院）

- O10-1.** 高齢者介護施設における急変時対応の現状と課題
～心肺停止状態時の対応に焦点をあてて～
村上 貴子（独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 看護部）
- O10-2.** 効果的な胸骨圧迫の実施に影響する要因に関する研究
浅田 若那（医療法人深仁会手稲深仁会病院心臓血管センター）
- O10-3.** A高校運動部生徒の一次救命処置に対する思い
～一次救命処置講習を受講して～
赤平 法三（公益社団法人有隣厚生会 富士病院）
- O10-4.** A病院で発生した院内心停止患者に対する蘇生技術の質の向上について
～現状分析から考察した今後の課題～
池澤 友朗（社会医療法人近森会近森病院）
- O10-5.** 二次救急医療機関の救急外来におけるセルフ・ネグレクト高齢患者への
支援 -救急再搬送予防できた事例-
八田 圭司（市立ひらかた病院）
- O10-6.** 確定診断前の降圧療法の妥当性
～病院前において脳卒中が疑われた一症例～
新行内 賢（日本医科大学多摩永山病院）

座長：瀧本 泰介（関門医療センター）

-
- O11-1.** 九州圏内の救命救急センターに所属する看護師の代理意思決定支援実践における困難感に影響する要因の検討
本田 智治（長崎大学病院 高度救命救急センター）
- O11-2.** 初期・二次救急外来患者の主体的な治療選択に向けた看護師の意思決定支援
山本 修輔（関西医科大学総合医療センター）
- O11-3.** 救急搬送されたCPA患者の家族に対し看護師が抱く感情についての実態調査
木嶋 久美子（公立長生病院）
- O11-4.** 患者と家族の意思の相違に対する意思決定支援の一考察
松崎 祐佳（千葉県救急医療センター）
- O11-5.** 救命救急センター看護師の考える代理意思決定支援
樋口 奈那美（公立置賜総合病院救命救急センター救急外来）

座長：弥富 祐樹（北見赤十字病院）

-
- O12-1.** 救急看護師の睡眠の質に対する婚姻状況や勤務体制の影響：
Fitbitと質問票による前向きコホート試験
石貫 智裕（札幌医科大学保健医療学研究科）
- O12-2.** 大量輸血プロトコールの導入に向けた院内整備
米嶋 美晴（総合病院 土浦協同病院）
- O12-3.** 初期診療で重症患者に対応する医療スタッフの配置と人数について
大賀 結（トヨタ記念病院）
- O12-4.** 病院組織を意識した通信アプリ開発と運用 ～普段使いから防災まで～
伊藤 和恵（医療法人 辰星会 柘記念病院 災害救急医療部）
- O12-5.** 携帯アプリを活用したER緊急連絡体制の確立
～管理者として取り組んだ3年間の成果～
友田 新二（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 ER）
- O12-6.** 血管造影室における注射薬誤薬防止トレイ導入の取り組みの効果
小島 圭太（新潟県立燕労災病院）

座長：谷津 千春 (公立館林厚生病院)

- O13-1.** 当院における重症COVID-19患者家族への看護実践
ー受け入れ当初の看護実践を振り返ってー
菊池 奈津子 (東海大学医学部付属病院)
- O13-2.** 新型コロナウイルス感染症による面会制限下のA病院救命救急センター
入室患者家族のノードとコーピング
大塚 衣純 (大分県立病院救命救急センター)
- O13-3.** COVID-19疑いで面会制限がある患者家族のノードに関する調査
吉末 朱里 (社会医療法人愛仁会高槻病院)
- O13-4.** 救命救急センター入院患者の家族の思いと看護師の対応
～新型コロナウイルス感染症による面会制限の影響～
庄司 直彌 (独立行政法人国立病院機構仙台医療センター)
- O13-5.** 面会制限下におけるFamilyコールの取り組み：
質問紙調査による評価と家族支援の検討
菊池 亜季子 (日本赤十字社医療センター 救命救急センター)
- O13-6.** 集中治療室におけるCOVID-19感染拡大防止による面会制限中の家族の
ニーズ
北村 拓弥 (東邦大学医療センター大森病院)

座長：山中 大和 (済生会川口総合病院)

- O14-1.** JTAS発熱症候成人患者の年代別入院率の実態と適切なレベルの検討
池田 直樹 (山形県立中央病院)
- O14-2.** 当院救急外来におけるアンダーtriageの要因
雨川 真大 (広島大学病院 看護部)
- O14-3.** 救急外来での院内triageにおける再triageの有用性
田辺 夏奈 (横浜労災病院救命救急センター)
- O14-4.** ウォークイン患者に対するtriage時の呼吸に関する観察
～超早期の観察から予測する看護～
須貝 太紀 (公立置賜総合病院 救命救急センター救急外来)
- O14-5.** 院内triageの質向上を目指した「全症例事後検証」の実践
大桃 美穂 (町田市市民病院)
- O14-6.** triage事後検証で明らかとなった当院のtriageの現状と課題
原 貴美子 (東海大学医学部付属病院救命救急センター)

座長：蟹沢 信二（虎の門病院）

-
- O15-1.** 初療看護師のスキルアップを目指した事例検討の導入
高橋 龍矢（兵庫県災害医療センター）
- O15-2.** 外傷性ショック患者の看護に関するコンサルテーション：
急性・重症患者看護専門看護師としての実践報告
増田 喜昭（藤枝市立総合病院）
- O15-3.** ER型救急看護の症例振り返りテンプレートシートの導入効果
森本 秀樹（飯塚病院救命救急センター）
- O15-4.** Webを活用した研修プログラムの取り組み
嘉陽 宗司（医療法人おもと会 大浜第一病院）
- O15-5.** A病院における病院内救急救命士の卒後教育の現状
田口 諒（海老名総合病院救命救急センター）
- O15-6.** 救命救急病棟における看護学生の意向に沿ったリモート実習の導入を目指して
井下田 恵（市立函館病院救命救急センター）

座長：藤岡 孝治（町田市市民病院）

-
- O16-1.** 全次型救急外来に救急搬送される患者へ看護師と医師が協働して医療を提供する際に必要と知覚する看護実践
滝沢 拓也（前橋赤十字病院 高度救命救急センター）
- O16-2.** 救急外来看護師と訪問看護師の連携による介入が奏功した一事例
伊藤 祐子（安曇野赤十字訪問看護ステーション）
- O16-3.** 救急外来看護師がMSWに行った報告の現状と課題
～入院とならなかった患者に焦点をあてて～
川崎 沙羅（杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター）
- O16-4.** 救命救急外来における院内認定退院支援看護師による帰宅支援
渡邊 朝子（社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 救命救急外来）
- O16-5.** 院内救急救命士の教育体制改善がつなぐチーム医療
迎山 愛（川西市立総合医療センター）

座長：屋良 朝範（済生会横浜市東部病院）

-
- O17-1. A病院コードブルー症例の実態調査 –RRTとの関連性の考察–**
三澤 友也（一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院）
- O17-2. 3次救急医療施設における一般病棟での急変事例の現状分析**
涌井 幸恵（新潟県立中央病院）
- O17-3. 認定看護師によるRRT介入患者のアセスメント記録を統一し共有した事で予後改善に至った報告**
森 静誠（医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院）
- O17-4. 当院における緊急コード未発令であった予期せぬ心停止患者の検討**
守屋 信昭（埼玉医科大学国際医療センター救命救急センターICU）
- O17-5. A病院におけるNEWSからの急変予測の現状と課題
–心停止事例のカンファレンスからみえること–**
鹿山 美穂（医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院）
- O17-6. National Early Warning Scoreを用いたラウンド方法とその結果からの今後の課題**
藤原 正美（医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院）

座長：梅村 由佳（滋賀医科大学医学部附属病院）

-
- O18-1. 暴力被害女性に対応する救急看護師の認識：
基本属性による違いに着目して**
加藤 茜（信州大学医学部保健学科）
- O18-2. 救命救急センター集中治療室における看護実践の現象学的研究
–リーダー看護師の勤務開始時に注目して–**
伊田 裕美（帝京平成大学）
- O18-3. A病院における救急看護師のモチベーションと課題**
河村 恵子（清恵会病院救急医療センター）
- O18-4. 宗教的な理由により輸血を拒否した消化管出血の1例**
熊沢 真弓（昭和大学藤が丘病院 救急医療センター）
- O18-5. 急性心筋梗塞を発症した喫煙者が医療機関を受診するまでのプロセス**
大串 晃弘（四国大学）
- O18-6. 二次救急医療機関における救急外来看護師のComfortケアの認識と実践**
舩田 成美（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション
淀川キリスト教病院）

座長：伊藤 暁子 (東京医科歯科大学)

- P1-1.** 救急看護認定看護師の救急外来部門における教育的役割活動の実態
菅原 美樹 (札幌市立大学)
- P1-2.** 新人看護師のフィジカルアセスメント教育の検討
—検温場面の振り返りを実施して—
松本 康代 (徳島県立中央病院)
- P1-3.** 救命救急センター看護師における複雑性と不確実性の認識と対応
浅川 孝之 (東京都立墨東病院)
- P1-4.** 重症COVID-19患者の看護において、ICU経験のない応援看護師の教育の
振り返り
川辺 さゆり (名古屋大学医学部附属病院)
- P1-5.** 初期急変対応能力向上へのアプローチ ~教育プログラムの導入~
田場 智美 (沖縄県立北部病院)

座長：松崎 八千代 (筑波メディカルセンター病院)

- P2-1.** A病院救急外来において死亡確認された患者家族の看護実践における現状
からの課題
村松 武明 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)
- P2-2.** 救急外来における家族看護の現状調査
~アンケート結果から今後の課題を明らかにする~
石上 八重子 (地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院)
- P2-3.** わが国の救急・集中ケア領域における終末期患者の家族看護に関する文献
検討
倉田 千晶 (厚生連松阪中央総合病院)
- P2-4.** 精神科無床A病院の救急外来での自殺未遂患者への対応
~フローチャートに基づいた看看連携の現状と課題~
田村 沙知 (聖隷浜松病院 救急外来)
- P2-5.** 群馬県におけるCOVID-19に対するクラスター対策チーム「C-MAT」
の運用
小池 伸享 (前橋赤十字病院)

座長: 鈴木 好 (小田原市立病院)

P3-1. 救急初療から全人的看護を目指した看護の充実

山口 富士美 (岐阜市民病院)

P3-2. 救急外来におけるせん妄予測スケールの効果

栢谷 晴香 (札幌徳洲会病院救急センター)

P3-3. ICDSCを用いたせん妄評価導入による効果

看護師のせん妄の知識および身体拘束実施率の変化に着目して

戸澤 愛 (東京都立駒込病院)

P3-4. 高度救命救急センターの24時間を通じた光環境の実態

高取 充祥 (山梨県立大学 看護学部)

P3-5. 救急ICUに入室した外傷患者1例の小型睡眠脳波計を用いた睡眠の実態

力久 真奈美 (佐賀大学医学部附属病院看護部)

座長: 宮崎 隆寛 (鶴岡市立荘内病院)

P4-1. 病院外で生じた心肺停止事例の発生場所とそのバイスタンダーから見える課題の検討

栗田 千春 (広島大学病院)

P4-2. 当院における脳卒中ホットライン対応の現状-特定看護師との協働-

吉野 暁子 (埼玉医科大学国際医療センター 看護部)

P4-3. 当院救命救急病棟におけるブレードンスケールを用いた体圧分散マットレス選択導入の効果の検討

大屋 勇人 (足利赤十字病院)

P4-4. 医療機器関連圧迫創傷の看護に関する 文献レビュー

青木 美絵 (医療法人社団さくら会 世田谷中央病院)

座長：上杉 如子 (小松市民病院)

P5-1. 自動参集基準を満たした、災害時の職員安否確認と病棟運営について考察するー病棟管理の視点からー

渡邊 一也 (公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院 看護部)

**P5-2. A施設における院内迅速対応システム導入に向けた課題
~看護実践経験5年目以上を対象に考察する~**

森 朋美 (地方独立行政法人 新小山市民病院)

P5-3. A病院におけるMedical Emergency Team発足後の現状と課題

川久保 嘉文 (岐阜市民病院)

P5-4. 急性期病棟における多職種で行うシームレスな退院支援の取り組み

恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院)

座長：大屋 勇人 (足利赤十字病院)

P6-1. 救急外来で勤務する看護師がCOVID-19対応の中で前向きな感情になった要因

笠井 千晶 (徳島赤十字病院)

P6-2. A病院における脳卒中患者に対する治療開始までの時間短縮の取り組み

新垣 仕言 (社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院)

P6-3. 救急外来における観察中の患者に対するモニターアラームの現状分析

橋本 知樹 (公立陶生病院救命救急センター)

P6-4. 救急外来を受診する患者が帰宅困難となる社会的要因を察知し関わる看護師の経験

長谷川 瑛 (公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院)